

平成29年5月9日

特別支援学校（視覚障害）学校長 殿

文部科学省初等中等教育局教科書課調査研究受託者
中野 泰志（慶應義塾大学）

本研究へのご協力をお願いする趣旨について

拝啓 日頃より、拡大教科書を始め、視覚障害教育に関する調査研究等に格段のご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、2017年5月8日に盲学校長会長の矢野口仁先生より、メールにて、私たちの研究へのご協力をお願いする文書が送信されたことと思います。この研究は、紙の拡大教科書の課題とされている持ち運びの困難さや特定のページを開く等の操作の難しさ等の問題を解決するための一つの方法として、タブレット型情報端末（iPad）を活用できないかという学校現場からのご要望からスタートしました。文部科学省初等中等教育局特別支援教育課から研究委託を受け、3年間で延べ研究協力校22校、生徒138人、教員272人のご協力を得て、iPadで教科書や自作教材を閲覧出来るアプリ「UDブラウザ」を開発することができました（<http://web.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/app/UDB/>）。また、文部科学省初等中等教育局教科書課と教科書協会のご協力を受け、拡大教科書の発行実績が高くない高等学校の教科書をデジタル化して提供するというプロジェクトを4年間実施してきました。教科書デジタルデータを授業や家庭学習等で利用していただいた結果、紙の拡大教科書と同等もしくはそれ以上の役割を果たし得ることが明らかになってきました。これらの研究成果を全日本盲学校教育研究会や全国弱視教育研究会等でご報告させていただいたところ、研究協力校以外の盲学校からも利用させて欲しいというご希望が寄せられるようになりました。そこで、文部科学省とも相談させていただき、これまで、研究協力校として指定させていただいていなかった盲学校でも本システムを利用できる体制を整えることが出来たため、今回の文書を送付させていただいた次第です。なお、今回の教科書のデジタルデータの提供は、あくまで、研究段階であるため、研究の一環としてご協力いただくという仕組みにしていることをご理解くださるようお願いいたします。

「UDブラウザ」で教科書デジタルデータ（現時点では別紙の教科書一覧のみ）を活用したいというご希望のある盲学校におかれましては、どうぞ、ご申請をお願いいたします。ちなみに、今回のデジタル教科書の提供は、通級や教育相談の生徒も対象になりますので、高等部を設置していない盲学校にも配布させていただきました。

ご理解、ご協力、何とぞ、よろしくをお願いいたします。

敬具